



先週金曜日はプール終わりの会があり、最後のプール遊びをおもいっきり楽しみました。
今年の夏は雨の日が少なく、保育園ではプールの日を39回設けることができました。ある日の朝のこと、プールに水がたまっていく様子を見ていた子が「さかなみたい！」と言いました。覗いてみると、プールカバーの上に水が浮き出ている、その形がまるで魚のエンゼルフィッシュのようになっていました。子どもたちの豊かな感性にはいつも感動させられます。また、先月30日(土)に、これから秋に向けて子どもたちが快適に過ごすことができるように、保護者の方に園庭整備や室内清掃等をしていただきました。大変お世話になりました。今日は早速広がった園庭で戸外遊びを楽しんでいました。

9月の予定

5日(金)～6日(土)

お泊り保育

9日(火)

梨狩り(たいよう)

10日(水)

英語

10日(水)～12日(金)

出雲二中 職場体験(3名)

12日(金)

交通安全教室(ほし・つき・たいよう)

13日(土)

保護者会連合会講演会

16日(火)

身体測定の日

〃

ミュージック・ケア

17日(水)

9月の誕生会

〃

子どもケア

17日(水)～19日(金)

出雲一中 職場体験(3名)

18日(木)

剣道

19日(金)

避難訓練

22日(月)

運動会リハーサル(つき・たいよう)8:45出発

24日(水)

運動会リハーサル(たいよう)8:45出発

25日(木)

お弁当日

26日(金)

運動会リハーサル(ほし・つき・たいよう)8:45出発

27日(土)

運動会(※土曜保育はありません。)

29日(月)

内科健診12:30～

30日(火)

神楽鑑賞会10:30～(一般公開)

27日(土)は運動会があります。3歳以上児のクラスの参加ですので、3歳未満児のクラスはお休みとなります。

運動会についての詳細はおたよりをご確認ください。

ほし・つき・たいよう組さんへ

リハーサルの日ですが、

対象のクラスは8：30までの登園をお願いします。

今月からお弁当日を再開します。よろしくお願いいたします。

＜旬の果物 -梨- ＞
9月、保育園の子どもたちは梨狩りに出かけます。今年は赤梨ではなく、20世紀梨です。みずみずしく爽やかな甘さが魅力の梨には疲労を回復させてくれるリンゴ酸やクエン酸がたっぷり含まれているそうです。食後のデザートにおすすめしたい秋の味です。またすりおろして肉料理と合わせると、肉がととてもやわらかくなり、まろやかな味わいになります。一度試してみられたらどうでしょう。

＜秋＞
帰宅後、犬の散歩に行くと「リーン リーン」と虫の音が聞こえました。まだまだ暑いですが、季節は確実に秋に近づいていっているのだと感じた一瞬でした。虫の音で秋を感じたりするのは、日本人だけの文化だという人もいます。空を見上げると月がうっすら出かかっています。9月はお月様がきれいですね。現在の暦でいうと9月～10月(今年は10月6日)の満月の夜が十五夜で、中秋の名月と言います。一年で最も月がきれいに見える夜とされています。昔の人は収穫を迎える稲穂(すすきで代用)や満月に見立てたお月見だんごなどをお供えして十五夜をお祝いしたそうです。風情がありますね。
また、9月の第3月曜日は、人生の先輩であるお年寄りを敬い、長寿を祝う日(敬老の日)です。ご家庭でもおじいちゃん、おばあちゃんに「長生きしてくださいね」と声をかけたり、ちょっとしたプレゼントをあげると喜ばれるかもしれませんね。笑顔のプレゼントも最高ですね。

＜療育整体とは＞
ひかり保育園では鳥取県の倉吉市より小林和子先生に来ていただいて、療育整体を元としたベビーマッサージを取り入れています。療育整体・・・聞きなれない言葉だと思います。「これから整体をします」と宣言して無理に子どもを横に寝かすことはなく、日常の中でさりげなく子どもに触れているうちに自然に血流がよくなり、勝手に発達する身体にもっていくのが、療育整体の目標です。皮膚をさする、身体を優しく揺らすといった手技は受ける方もとても気持ちよく、子どもが痛い・辛い思いをせずに自然と施術できます。とにかく、子どもの手や足に触れることです。このスキンシップが親子の毎日の日課になると良いですね。ぜひ我が子に触れる機会を増やしてみてくださいね。

(園長 筆)

お知らせ

【神楽鑑賞会について】

9月30日(火) 10:30～

今月30日は赤塚神楽佐儀利保存会の皆さんによる神楽の鑑賞会を行います。一般にも公開していますので、保護者の方でご都合のつく方はぜひお越しください。

参加の希望のある方は、口頭、または連絡ノートにてお知らせください。

【いずもの木を使ったハイハイトンネル】

先月末、しずく組に新しく木製のハイハイトンネルがやってきました。

出雲で育った木「いづもの木」(市産材)を使用してオーダーメイドで市内の業者に作ってもらいました。ハイハイは手足をたくさん使うので脳の発達にととても良く、好奇心旺盛な子どもたちはこれまで以上によく遊んでいます。

この取組は、森林環境譲与税を活用した出雲市の取組のひとつで、子どもたちが木に触れることで自然とのつながりを感じ、子どもを感性豊かに育てる「木育」を推進し、また出雲の森や山を大切に思い続ける子に育てもらうために実施されている事業です。